

一つの行事が心と体を揺さぶる「運動会」。 そして自分の成長。

5月24日（土）今年度の「運動会」が無事に終了しました。各学年、クラス、個人が本番に向けて様々な準備をし、あの時間が作られました。そして、その時間が当日の、子供たちの「無我夢中」の共有につながったのだろうと思いました。子供たちは本当によく頑張ったと感じています。また同時に、この運動会期間は心と体を揺さぶられ、自分に向き合う経験にもつながったと思います。かがやきの事前指導の中では、運動会に向け、自分がどのようなモチベーションや気持ちで取り組むのかを予想する時間を取りました。当日に向けては「楽しみ」「緊張」「不安」「わくわく」「ドキドキ」「疲れ」「期待」等々、たくさんの気持ちの言葉のやりとりがありました。そして「勝敗の受け入れ」「会場の音量対応」「個々の疲れ」など、自分の課題をどう調整していくかについても話をしました。当日はつかれの限度を感じたらかがやき教室でクールダウンすることを、事前に子供たちや担任の先生とも確認してあり、実際に自己申告でクールダウンし、その後競技に参加できたという子もいました。これについては運動会期間を通した一つの「成果」になったと思いました。

一つの行事を通して、自分がどんなことに頑張り、我慢し、時にイライラしたり不安になったりしながら参加したのか。結果も含めて整理していく中で自分の成長、変化にも気が付ける運動会になったと感じました。



令和7年6月3日（火）
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室かがやき
教室通信 NO.4

運動会明けの週はそれぞれのグループの中で運動会についての振り返りを行いました。気持ちの言葉表などを参考にしつつ、自分の学年の演目、競技、全校競技、準備などに項目を分けて自己評価していました。「楽しかった」「頑張れた」「満足した」等の前向きな評価に加えて、「最初はドキドキしたけど、終わってほっとした」「不安と頑張れた気持ち」「負けて悔しかったけど、楽しかった」などの複数の気持ちの変化を具体的に伝えてくれた子供もいました。自分がそのときにどのような感覚でいたのか、それが感じている言葉を共有していくことで、自分や相手への理解もより深まったように感じました。

お知らせ

個人面談希望調査へのご協力をありがとうございました！

面談決定日時のご連絡が遅くなってしまい、すみませんでした。何か不都合等ありましたら、お気軽にかがやきまでご相談ください。

